



# 西東京市 地域情報化方針 《重点》

2020（令和2）年度

2020年3月  
西東京市





## はじめに

地域情報化をめぐる環境は、急速に変化しています。この変化に対応するため、市の地域情報化は、「地域情報化方針《基本》」「地域情報化方針《重点》」、「各部署の個別計画（情報化に関する部分）」の3つから構成しています。

「地域情報化方針《基本》」は、地域情報化を推進するにあたっての基本的な考え方や推進体制等を述べています。「地域情報化方針《重点》」は、社会変化や技術動向、市のまちづくりを考慮しつつ、市が重点的に取り組む内容をまとめています。

「地域情報化方針《重点》」（本書）は、社会変化や技術動向、事業進捗等に合わせ年度ごとに見直しを行います。



## 目次

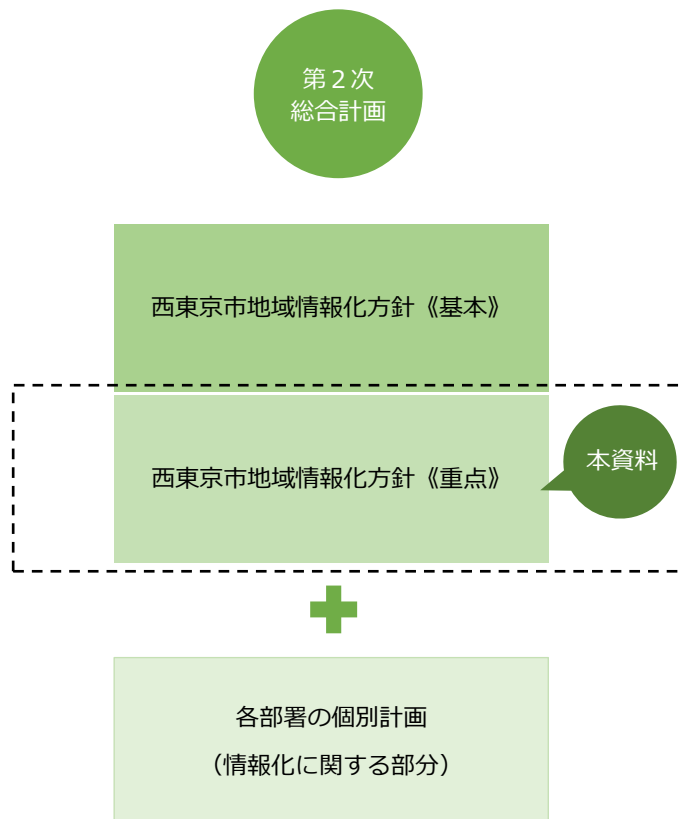
方針の構成（重点部分の位置づけ）	1
取組の重点化	2
国・都の情報政策	3
技術動向	5
市のまちづくり	6
重点取組の整理	8
取組の段階と目標	9
重点取組一覧	10
参考資料	11
用語解説	13

（語句等の末尾に「\*」を付しているものは、用語解説を参照してください。）



## 方針の構成（重点部分の位置づけ）

市の地域情報化は、「地域情報化方針《基本》」と「地域情報化方針《重点》」、そして「各部署の個別計画」の3つから構成されています。本資料は、「地域情報化方針《重点》」です。本資料には、地域情報化を効果的に推進させるため、優先して取り組むべき地域情報化の「重点取組」がまとめられています。



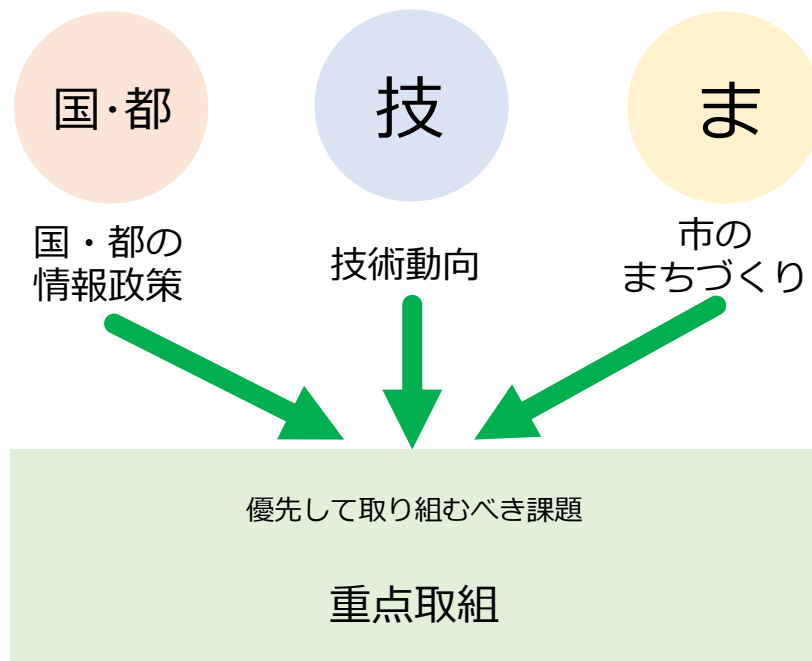


## 取組の重点化

地域情報化で重点的に取り組む事業については、「国・都の情報政策」、「ICT\*に関連した技術動向」、「市のまちづくり」の3つの分野から検討します。

「国・都の情報政策」では、情報化に関して国や都が公表する法令、方針、指針、戦略を基に、これらの情報政策に対応した取組を検討します。「技術動向」では、ICT分野における新しい技術について技術の研究、事例調査等を行い検討します。「市のまちづくり」では、まちづくりを進めるに当たっての地域課題の解決に向けた情報化を検討します。

これら3つを総合的に検討し、重点取組として導き出します。





# 国

## 国・都の情報政策

### 国の主な情報政策

国の情報化に関する情報政策は、法令、方針、指針、戦略として公表されています。地方公共団体は、国が定めた情報政策を踏まえ、地域情報化に取り組むことが求められています。

「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画（IT新戦略）」（2019年6月）においては、国の情報政策の基本的な考え方と重点取組がまとめられています。

#### 基本的な考え方

国民が安全で安心して暮らせ、豊かさを実感できるデジタル社会の実現

#### 重点取組①

世界を牽引する先駆的取組の、社会実装プロジェクト

#### 重点取組②

国民生活で便益を実感できる、データ利活用

#### 重点取組③

我が国社会全体を通じた、デジタルガバメント

#### 重点取組④

社会基盤の整備

上記取組の中で、地方公共団体における情報政策として次の取組が掲げられています。

1. オープンデータ\*化の促進（重点取組②）
2. 行政手続のオンライン化、ワンストップ化（重点取組③）
3. 業務の効率化（重点取組③）
4. マイナンバーカード\*の普及、利活用の推進等（重点取組③）
5. システム等の共同利用の推進（重点取組③）
6. 官民データの利活用（重点取組③）



## 都

## 東京都の主な情報政策

東京都の情報化に関する計画は、東京都 ICT\*戦略（2017 年 12 月策定）があります。この戦略では、基本的な考え方として 4 つの柱を掲げ、「2020 年に向けた実行プラン」で示す「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の 3 つのシティごとに、ICT を活用した施策展開が示されています。

## 基本的な考え方

柱 1	都市機能を高めるに当たって、ICT を活用する
柱 2	データを活用する
柱 3	ICT を活用し、官民連携で行政課題を解決する仕組みを構築する
柱 4	民間における ICT 活用を後押しし、生産性向上・新価値創造を図り、東京・日本の成長につなげる

なお、都は「2020 年に向けた実行プラン」で掲げた政策のブラッシュアップのための、政策展開の基本となる大きな方向性や、その実現に向けて重点的に検討すべき事項を、毎年度、「重要政策方針」として示しています。（下図）

「重点政策方針2019」（2019年7月）  
～先端技術を活用し、Society5.0の実現に向けた施策を具体化～

- 東京都版 Society5.0 の実現に向けた社会実装
  - ・キャッシュレス化の推進
  - ・東京都版モビリティ革命（M a s s の実現）
  - ・オープンデータ\*の活用促進
  - ・官民連携データプラットフォームの構築
- 社会的課題解決と経済発展の両立に資する先端技術
  - ・地域に密着したリアルデータ、5G\*を活用した実証事業プロジェクトの後押し
  - ・東京 2020 大会に向けた先端技術のショーケース
- 都庁のデジタル化の推進
  - ・AI\*・RPA\*等を活用した業務効率化
  - ・行政手続の電子化・ビッグデータ\*活用
  - ・都民目線に立ったオープンガバメントの推進
- 5G ネットワークの早期構築



## 技

## 技術動向

ICT\*分野では新しい技術が次々に開発されています。すでに実用化されて社会への普及が始まっている技術もあります。多くの技術がある中でも、他の自治体で導入され市民生活や行政サービスにおいて効果を出している技術については、市としても優先した検討を行う必要があります。また、併せて、地域情報化への貢献が期待できる技術の導入についても検討していきます。

次の技術は、既に他の自治体において実用化が図られていて、効果が期待されている技術となります。

1. R P A \*の導入
2. 公衆無線 LAN\* (Wi-Fi\*) の整備
3. オープンデータ\*の促進
4. 個人番号カードの活用
5. デジタルサイネージ\*の活用
6. ソーシャルメディア\*、LINE\*
7. チャットボット\*
8. 自治体クラウド\*





## ま

## 市のまちづくり

市の目指す理想のまちを実現させるためには、解決すべき様々な地域課題に取り組む必要があります。それらの中には、情報化によって、より効果的な解決支援が期待できるものがあります。まちづくりのための課題解決に貢献することも、地域情報化が果たすべき役割となります。

市は基本構想において、基本理念を踏まえて4つの理想のまち〔将来像〕を掲げています。基本構想の計画期間（10年間）を見据え、市を取り巻く環境や今後の変化を踏まえたまちづくりの課題を整理しています。

併せて、まちづくりの課題を解決するため、6つのまちづくりの方向を位置付けています。

## まちづくりの課題

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 地域コミュニティの再構築         | 5. 都市基盤整備と防災・防犯対策の推進 |
| 2. 地域の自立と行財政改革の推進       | 6. 産業の振興と地域経済の活性化    |
| 3. 少子高齢化への対応と協働によるまちづくり | 7. まちの魅力の向上と内外へのアピール |
| 4. みどりの保全と低炭素社会づくりの推進   |                      |

## 6つのまちづくりの方向

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| <b>みんなでつくるまちづくり</b> | <b>環境にやさしいまちづくり</b>   |
| <b>創造性の育つまちづくり</b>  | <b>安全で快適に暮らすまちづくり</b> |
| <b>笑顔で暮らすまちづくり</b>  | <b>活力と魅力あるまちづくり</b>   |

「西東京市第2次総合計画・後期基本計画」2019年3月策定から抜粋



第2次総合計画・後期基本計画では、施策実現のために主要事務事業を示しています。それらの主要事務事業の中で情報化に関する取組は次のようになります。

総合計画の地域情報化に関する取組

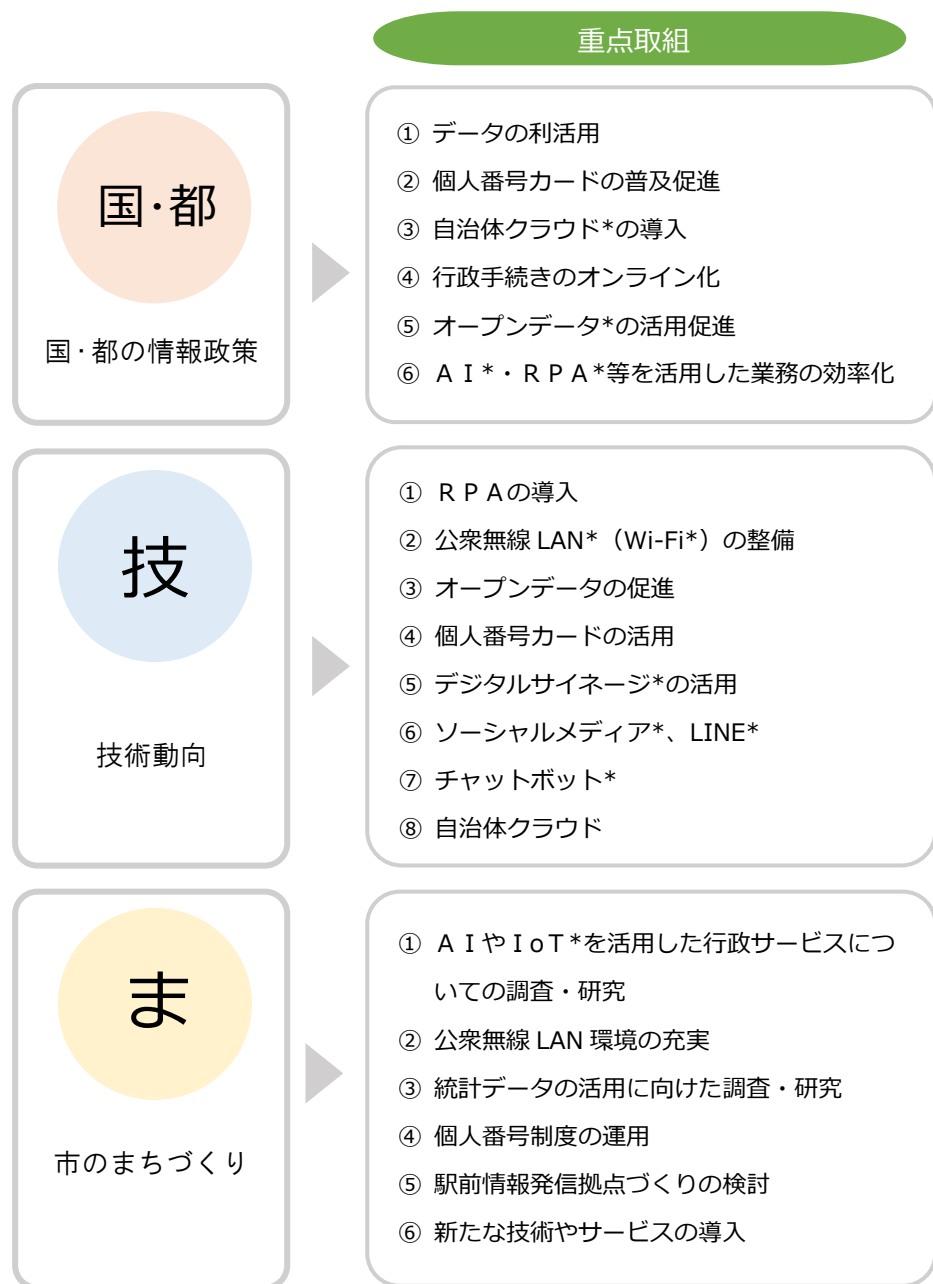
方向性	施策	取組
みんなでつくるまちづくり	み 3-1 開かれた市政の推進	●ホームページの充実
		●行政関連情報の運営管理
		●AI*やIoT*を活用した行政サービスについての調査・研究
		●新たな技術やサービスの導入
		●公衆無線LAN*環境の充実
		●統計データの活用に向けた調査・研究
		●個人番号制度の運用
		●オープンデータ*の取組推進
創造性の育つまちづくり	創 2-1 生涯学習環境の充実と主体的な学びの促進	●生涯学習情報の整備・活用
笑顔で暮らすまちづくり	笑 2-1 健康づくりの推進	●健康情報普及サイト事業の実施
環境にやさしいまちづくり	環 2-1 地球温暖化対策の推進	●環境情報の提供及び環境学習の実施
安全で快適に暮らすまちづくり	安 2-1 災害や地域の危機に強いまちづくりの推進	●緊急情報ネットワークの運用、整備
活力と魅力あるまちづくり	活 2-1 まちの魅力の創造	●まちの魅力向上事業の推進
		●駅前情報発信拠点づくりの検討

「西東京市第2次総合計画・後期基本計画」2019年3月策定から抜粋



## 重点取組の整理

国・都の情報政策、技術動向、市のまちづくりで示された内容は、どれも重要な取組となりますが、実現性や効果等を踏まえ、地域情報化方針の重点取組を次のように整理します。





## 取組の段階と目標

重点取組としたそれぞれの事業には段階があります。毎年の取組状況を分かりやすく示すため、「調査研究」、「適用検討」、「導入実行」の3つの段階で進捗を図ります。

### 1 調査研究

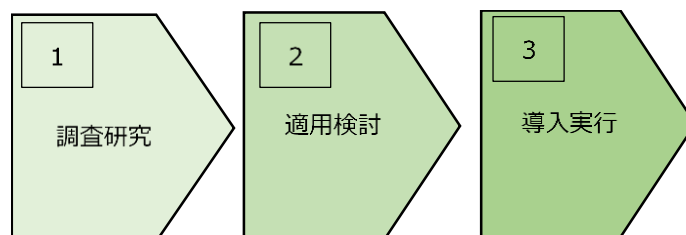
技術動向や他の自治体での先行事例を調査します。この調査によって現状等の把握に努めます。

### 2 適用検討

導入に向けて実現可能性を検討します。実証実験やテスト運用等を試行することもあります。適用業務や適用範囲、費用、効果などについて具体的に検討します。

### 3 導入実行

所管部署は導入時期、必要な予算措置、実行における目標等を定めます。また、導入後の運用時においては、社会の変化や技術動向、まちづくりの方向等を考慮して、適時見直しや改善等を図ります。



「導入実行」の段階となった取組は、導入による効果を示すため、具体的な目標値を KPI\*として定めます。「適用検討」「調査研究」の段階にある取組は、毎年度の見直しによって、次の段階に進めるか否かを検討します。PDCA\*サイクルに基づき毎年度の到達状況を確認し、取組内容や目標値（KPI\*）を検証し、見直していきます。

重点取組一覧

No	国・都 情報政策	技術動向	まちづくり （総合計画）	第2次総合計画 「6つのまちづくりの方向」	重点取組 概要	所管課	取組状況			成果指標	これまでの 取組・検討状況 (令和2年2月末時点)	目標		
							調査 研究	適用 検討	導入 実行			令和2年度	令和5年度	
1	②			【み】 みんなでつくるまちづくり	個人番号カードの普及促進	市民課	→	→	→	個人番号カードの 交付枚数	42,678 枚	97,056 枚	市民への広報及び土曜・夜間窓口、出張 窓口での受付・交付等を実施します。また、 国のマイナポイントによる消費活性化策の サービスの受けられるよう、マイキーID 設定支援を行います。	202,904 枚
2	④			【み】 みんなでつくるまちづくり 【創】 創造性の育つまちづくり 【笑】 笑顔で暮らすまちづくり 【安】 安全で快適に暮らすまちづくり	行政手続きのオンライン化	情報推進課	→	→	→	オンライン化した 行政手続き数	13 件	15 件	福祉や災害分野における行政手続きの オンライン化を進めます。	34 件
3	⑤	③		【み】 みんなでつくるまちづくり	オープンデータの促進	情報推進課	→	→	→	オープンデータ化 した行政情報数	5データセット	6データセット	東京都のオープンデータ専用サイトを 活用し、データのオープン化を進めます。	14データセット
4		②	②	【み】 みんなでつくるまちづくり 【安】 安全で快適に暮らすまちづくり	公衆無線 LAN 環境の充実	情報推進課	→	→	→	公衆無線 LAN 設置 箇所数	4 拠点	5 拠点	駅前における行政情報発信の充実ととも に、災害対策等の活用について検討を行 い、拠点の増設を進めます。	20 拠点
5			⑤	【み】 みんなでつくるまちづくり 【活】 活力と魅力あるまちづくり	駅前情報発信拠点の活用	企画政策課 情報推進課	→	→	→	駅前情報発信拠点 での情報発信数	駅前情報発信拠点プロ ジェクト事業の実施	100 件	駅前情報発信拠点で整備された LED ビジ ョンを活用し、行政情報を発信します。	250 件 (令和3年度)
6		⑤		デジタルサイネージの活用	市内外に向けて地域の魅力を発信するた め、市内主要駅や駅周辺における情報発 信拠点活用を推進するとともに、デジタ ルサイネージ等の活用によるプロモーシ ョン機能の充実を図ります。	秘書広報課	→	→	→	駅前情報発信拠点 内での情報取得数		1,500 件	駅前情報発信拠点プロジェクト事業拠点 内に設置したデジタルサイネージで行政 情報を発信します。	4,500 件 (令和3年度)
7	③	⑧		【み】 みんなでつくるまちづくり	自治体クラウドの導入	情報推進課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加	統合情報システムの更新に合わせて、他自治体の導入実 績を参考に、自治体クラウド（システム共同利用）の検 討を行います。	—	
8	⑥	①	①	【み】 みんなでつくるまちづくり	AI・RPA等を活用した業務 効率化	情報推進課 企画政策課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加 ・無償トライアルの 検証	無償トライアルの実施や他自治体の導入実績を参考に、 業務の効率化等の効果を検証します。	—	
9	①		③	【み】 みんなでつくるまちづくり	統計データの活用に向けた 調査・研究	総務法規課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加	説明会やセミナー等へ参加し、令和3年度の庁内の意見 集約を目指して統計データを活用する業務の調査・研究 を行います。	—	
10		④	④	【み】 みんなでつくるまちづくり	個人番号カードの活用	市民課 情報推進課 企画政策課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加 ・庁内関係部署による 検討	他自治体における導入事例等を参考に、調査・研究を行 います。	—	
11			⑥	【み】 みんなでつくるまちづくり 【笑】 笑顔で暮らすまちづくり 【環】 環境にやさしいまちづくり 【安】 安全で快適に暮らすまちづくり	ソーシャルメディア、LINE等 の活用	秘書広報課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加 ・庁内関係部署による 検討	現在のソーシャルメディア等の活用に加え、広報、健康 福祉、防災等の分野において、他自治体の導入事例を参 考にして、効果的な情報発信について調査・研究を行 います。	—	
12		⑦	⑥	【み】 みんなでつくるまちづくり	新たな技術やサービスの導入	情報推進課 企画政策課	→	→	→	—	・説明会、セミナー等 への参加	新たな技術やサービスについて、他自治体の導入事例 や、情報政策専門員の意見を参考に、調査・研究を行 います。	—	



## 参考資料

### 国の情報政策

- 行政情報化推進基本計画（1994年12月）
  - 高度情報通信ネットワーク社会形成基本法（平成12年法律第144号）
  - 行政手続オンライン化法（2003年2月）
  - 電子自治体オンライン利用促進指針（2006年7月）
  - 新電子自治体推進指針（2007年3月）
  - 電子行政オープンデータ戦略（2012年7月）
  - マイナンバー法（2013年5月）（注）
  - 電子自治体の取組みを加速するための10の指針（2014年3月）
  - スマート・ジャパン ICT 戦略（2014年6月）
    - ICT 成長戦略Ⅱ
    - ICT 国際競争力強化・国際展開イニシアティブ
  - 官民データ活用推進基本法（2016年12月）
  - 世界最先端 IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本法（2017年5月）
  - デジタル・ガバメント推進方針（2017年5月）
  - オープンデータ基本指針（2017年5月）
  - 経済政策運営と改革の基本方針 2017（2017年6月）
  - デジタル・ガバメント実行計画（2018年1月）
  - 地方公共団体におけるオンライン利用促進指針（2018年5月）
  - 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画（2018年6月）（2019年6月）
  - 自治体戦略 2040 構想（2018年7月）
  - デジタル手続法案（2019年3月15日、閣議決定）
- （注）行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

### 都の情報政策

- 東京都 ICT 戦略（2017年12月）
- 「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化（2019年度）～2020年に向けた実行プラン（2019年1月）
- 「未来の東京」戦略ビジョン（2019年12月）
- 重点政策方針 2018（2018年7月）
- 重点政策方針 2019（2019年7月）



## 参考資料

### 実用化されている主な技術

- 公衆無線 LAN (Wi-Fi\*)
- RPA\* (Robotic Process Automation)
- AI\* OCR\* (光学的文字認識)
- オープンデータ\*
- 自治体クラウド\*
- ソーシャルメディア\*、LINE\*
- デジタルサイネージ\* (電子看板)
- マイキー\*、マイナンバー\*カード\*
- チャットボット\*
- AI (Artificial Intelligence : 人工知能)
- ビッグデータ\*
- 災害対策用移動通信機器
- VR (Virtual Reality : 仮想現実、バーチャルリアリティ)
- AR (Augmented Reality : 拡張現実)
- IoT\*、IoT2.0 (Internet of Things : モノのインターネット)
- GIS (Geographic Information System : 地理情報システム)
- ロボット
- ロボットスーツ (運動補助、重労働支援、介護支援)
- IC タグ\*
- ブロックチェーン
- 電子決済 (QR 決済含む)
- ドローン\*
- 自動翻訳\* (多言語音声翻訳)
- ウエアラブル端末 (スマートウォッチ、スマートグラスなど)
- ITS\* (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム)
- 画像認識 (文字認識、顔認識、指紋認識など)
- DX (Digital Transformation : データトランスフォーメーション)
- HEMS (Home Energy Management System : エネルギー管理システム)、MEMS、BEMS



## 用語解説

AI（人工知能）…

Artificial Intelligence。学習・推論・認識・判断などをコンピューターに行わせる技術

IC タグ…

無線で情報の読み出しや書き込みが可能な小型のチップ

ICT…

Information and Communication Technology。情報と通信に関する技術の総称

IoT…

Internet of Things（モノのインターネット）。様々なモノ（物）がインターネットに接続され、相互に制御する仕組み

ITS…

Intelligent Transportation Systems（高度交通システム）。ITを利用して交通の輸送効率や快適性の向上に寄与するシステム

KPI…

Key Performance Indicator。重要業績評価指標

LINE…

LINE 株式会社が提供する無料通話アプリ。インターネットを介して音声通話やチャットができる

OCR…

Optical Character Recognition（光学的文字認識）。活字を読み取って文字コードに変換する装置

PDCA…

Plan Do Check Act。計画・実行・評価・改善の4段階を繰り返しながら行う業務改善

RPA…

Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）。オフィスワークをパソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する技術

オープンデータ…

機械判別に適したデータ形式で、二次利用可能な利用ルールで公開されたデータ





クラウド…

インターネットを経由して行われるコンピュータ資源のサービス

5G…

第五世代移動通信システムの略称で、携帯電話などの通信に用いられる次世代通信規格のひとつ

公衆無線 LAN (Wi-Fi)

無線 LAN を利用したインターネットへの接続を提供するサービス

Wi-Fi は、無線 LAN の規格のひとつ

自動翻訳…

コンピュータが自動的に行う言語の翻訳

ソーシャルメディア…

インターネットを利用して利用者が情報を発信し、又は相互に情報をやりとりするメディア

チャットボット…

人工知能 (AI) を活用した自動会話プログラム。チャット (会話) とボット (ロボット) を組み合わせた造語

デジタルサイネージ…

Digital Signage (電子看板)。液晶ディスプレイや LED を用いた表示装置で映像や文字を表示する情報・広告媒体

ドローン…

無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称

ビッグデータ…

通常の処理で扱うことが困難な巨大で複雑なデータの集合

マイキー…

マイナンバーカードの IC チップの空きスペースと公的個人認証の部分で、国や地方公共団体といった公的機関だけでなく、民間でも利用できるもの

マイナンバー…

個人番号。個人の識別番号として住民に指定される 12 桁の番号

マイナンバーカード…

マイナンバーが記載された顔写真入のプラスチック製のカード。個人番号カード



「いこいな」  
©シンエイ/西東京市

## 西東京市

### 地域情報化方針《重点》

2020（令和2）年3月

西東京市企画部情報推進課

188-8666

東京都西東京市南町五丁目6番13号